

佐賀県への提案

1. 開門問題の解決へ向けて積極的な対話を

- ・ 有明海再生に向けて、開門で期待する部分と開門以外でも対応しないといけない部分に分けて適切に対応していただくよう要望します。

- ・ 開門問題の解決に向けて関係者間で積極的な対話をお願いします。対話が始まれば、開門反対派から開門に何を期待するのか問われることになるので、開門目的とその必要性について明確な整理が必要となります。

- ・ 開門だけでは有明海の再生は困難です。下記のような開門以外の対応もこれからは必要となります。

2. “有明海の未来” についての取り組みを

- ・ “有明海の未来” について考え、それに向けた県民運動へと発展させる必要があります。

- ・ そして、この運動を有明海関係全県にまで広がりを持たせることが重要で、瀬戸内海等での取り組みを参考としつつ、“有明海の未来” のために関係県と何らかの共同体が作れないでしょうか。

(瀬戸内海での組織) 社団法人瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海研究会議、せとうちネット

3. 有明海研究所の構築を

“有明海の未来”を構築していく上で、有明海を総合科学として研究し、教育に反映していく有明海研究所が必要です。

4. 総合的な水産振興を

農業と同様に高齢化が進み、後継者が少なくなっている有明海の水産業に対して、総合的な水産振興が必要です。例えば、総合的なタイラギ復活事業、水産業行政の展開(6次産業化)などが挙げられます。

特定非営利活動法人有明海再生機構